

第1回 大阪狭山市総合計画・総合戦略審議会 議事概要

開催日時	令和7年2月25日（火）10時00分～12時00分
開催場所	大阪狭山市役所3階 協議会室
出席者	上甫木委員、小野委員、地下委員、溝手委員、富田委員、菊屋委員 大西委員、西井委員、山村委員、中嶋委員、上田委員、酢谷委員、野村委員 寺坂委員、南城委員、金谷委員、小松委員
欠席者	久委員
事務局	政策推進部長、政策推進部企画・情報政策グループ課長、政策推進部企画・情報政策グループ課長（情報政策担当）、政策推進部企画・情報政策グループ課長補佐、政策推進部企画・情報政策グループ主査、政策推進部企画・情報政策グループ兼まちづくり推進部都市政策グループ主査
傍聴者	0名
議題(案件)	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 審議会委員紹介 4 会長・副会長選出 5 諮問 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第五次大阪狭山市総合計画及び第2期大阪狭山市総合戦略について (2) 第五次大阪狭山市総合計画中間見直し等方針について (3) 第五次大阪狭山市総合計画中間見直しスケジュール（案）について (4) 第五次大阪狭山市総合計画（基本構想）（素案）について
資料	資料1 大阪狭山市総合計画・総合戦略審議会規則 資料2 大阪狭山市総合計画・総合戦略審議会委員名簿 資料3 第五次大阪狭山市総合計画 資料4 第五次大阪狭山市総合計画概要版 資料5 第2期大阪狭山市総合戦略 資料6 第五次大阪狭山市総合計画中間見直し等方針 資料7 第五次大阪狭山市総合計画中間見直しスケジュール（案） 資料8 第五次大阪狭山市総合計画（基本構想・後期基本計画）（素案） 資料9 第五次大阪狭山市総合計画（基本構想）（素案）＜新旧対照＞ 資料10 第五次大阪狭山市総合計画（後期基本計画・序章）（素案）＜新旧対照＞ 資料11 第五次大阪狭山市総合計画（後期基本計画・施策）（素案）＜新旧対照＞ 資料12 「第五次大阪狭山市総合計画中間見直し」に関する市民意識調査報告書 資料13 第五次大阪狭山市総合計画の実施状況（総括） 資料14 進捗状況を見る主な指標・市民意識に見る主な指標一覧 資料15 第2期大阪狭山市総合戦略進捗状況

議 事 の 経 過	
発言者	発言の内容
市長	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料の確認 <p>2 市長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お忙しい中、ご参集いただき感謝申し上げます。 ・令和3年3月に第五次総合計画が策定され、5年目を迎える。総合計画10年間の中間見直しにあたるが、この間、本市を取り巻く環境も変化し、見直しが必要となっている。 ・さらに総合計画の基本計画の重点施策を総合戦略に位置付けているため、総合計画の見直しと共に第3期総合戦略も見直すことになる。本審議会はその見直しについて、審議いただく位置づけとなっている。 ・見直しは、これまでの施策の進捗状況、本市を取り巻く状況の変化等を踏まえ、新たに進めなければならない事業等を検討すると共に、既存事業の充実も図っていく。 ・現在、市では今熊地区周辺エリアの公共施設の集約・建替えによる複合施設の整備に向けた検討を行っている。本市にとって重要な機能が集まるエリアであり、集約・建替えによって市民活動のあり方も変わる可能性がある重要な事業を進めている。 ・また、近畿大学病院等移転後の跡地活用は、狭山ニュータウン地区の再生事業の大きなポイントであり、今後より具体的な話となっていく。 ・このような状況の中で、今回、総合計画及び総合戦略を見直していくことになる。本審議会では、専門的な立場の委員や市民代表の委員で構成されており、それぞれの立場で大所高所から忌憚のない意見を頂戴したい。 <p>3 審議会委員紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員の紹介 <p>4 会長・副会長の選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪狭山市総合計画・総合戦略審議会規則第4条第1項の規定により、会長及び副会長は、委員の互選により定めるとしているが、どのようにさせていただくか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第五次総合計画の策定時における審議会でも会長、副会長を担っていただいたので、上甫木委員に会長を、小野委員に副会長をお願いできたらと思うが、いかがか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・そのように決定してよいか。
事務局	<p>(異議なし)</p>

事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・上甫木会長よりご挨拶を頂く。 ・総合的に見直しを行うにあたり、専門の立場、地域で活動されている立場の方々が、相互にどう一緒に議論して進めいくかということも、この会議の重要なポイントである。その点にも配慮していただきながら、皆さんの知恵を拝借して進めていきたい。よろしく願います。
事務局 副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・小野副会長よりご挨拶を頂く。 ・社会福祉のうち、特に地域福祉を専門にしている。地域福祉というのは、縦割りではなく横割りでやっていこうという、まさに横串を通す、そういう立場である。 ・生活や地域づくりの面から皆さんと一緒に考えていきたい。よろしく願います。
事務局	<p>5 諮問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古川市長から、第五次大阪狭山市総合計画の中間見直し及び第3期大阪狭山市総合戦略の策定について諮問を行う。 <p>(諮問)</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・続いて、事務局より2点報告がある。 ・1点目、本会議の公開について、報告申し上げる。 ・「大阪狭山市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、この会議を公開とさせていただくので、委員の皆様におかれましては、ご了承のほど、よろしく願ひ申し上げます。 ・次に、2点目、会議の成立について、委員総数18名で本日ご出席いただいている委員は、17名となっている。 ・したがって、本日は、2分の1以上のご出席をいただいているので、大阪狭山市総合計画・総合戦略審議会規則第5条第2項の規定によりこの審議会は、成立していることをご報告申し上げます。 ・それでは大阪狭山市総合計画・総合戦略審議会規則第5条の規定により、会長に議長を願ひする。
会長	<p>6 議事</p> <p>(1) 第五次大阪狭山市総合計画及び第2期大阪狭山市総合戦略について</p> <p>(2) 第五次大阪狭山市総合計画中間見直し等方針について</p> <p>(3) 第五次大阪狭山市総合計画中間見直しスケジュール(案)について (資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見、ご質問があれば願ひしたい。 <p>(意見、質問等なし)</p>
会長	<p>(4) 第五次大阪狭山市総合計画(基本構想)(素案)について (資料説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見、ご質問があれば願ひしたい。

委員	・この審議会は、素案を承認するために議論をするのか、新たな情報や提案、変更を加えることも可能なのか。数回の会議ですべて読み込んで技術的なことも踏まえて議論するのは難しいと思うが、審議会の中での見直しの振り幅を知りたい。
事務局	・今回の諮問案は、今年度、庁内で議論して策定した庁内素案であり、これをベースに本審議会で意見をいただき、不要な部分は削除し、変更や追記が必要なところは修正していきたい。振れ幅についても、どういう形でまとめるかということも含めて議論していただき、答申案として取りまとめたいと考えている。
会長	・中間見直し等方針も踏まえて、今回は中間見直しであることから、大きな枠組は変えない方向で考えている。ただ、この5年間の社会情勢の変化を次の5年の計画に反映する必要があるとあり、新たな方針、考え方を付加しなければ見直す意味がないので、審議会の意見を踏まえて修正していくものと認識している。
委員	・今後、パブコメが行われると思うが、これまでのパブコメを見ていると同じような方からの一定数のみの回答で、特に民意が反映されているとはいえない。一方で SNS は 10 年以上前から使う人も増えており、若い人や今までネットに触れていなかった人も含めて、本当に民意を反映させるためには、今までと発信の手法を変えていくことも視野に入れてはどうか。検討いただきたい。
会長	・見直しのスケジュールにパブコメがあるので、広く意見を吸い上げるような試みも実施してはどうか、という重要な意見である。事務局で検討してほしい。
委員	・p. 7 の第 2 章の冒頭に、令和 5 年「こども家庭庁を設置」とあるが、令和 4 年に制定された「こども基本法」に基づき、国のこどもまんなか施策や市のこども施策ができているので「こども基本法」という文言を入れてはどうか。
事務局	・こどもまんなか社会やこども施策の基となる「こども基本法」について、「市の取り巻く情勢」のところに追記するかたちで対応していきたい。
委員	・p. 20 の「市民意識調査」で、前年度のグラフは上が古い年度で下が新しい年度だったが、見直し案は上が令和 6 年度、下が令和元年で「住みよい」「非常に住みよい」の値が減ったように錯覚する。逆のほうが見やすいと思う。
会長	・さらに言えば、令和元年の前から比較できるほうがよいのではないかと。3 つの時点で比較するとより動きが分かりやすいので、検討されたい。
事務局	・平成 27 年度に実施した調査を追記し、年度の並び順も含めて修正するかたちで検討したい。
委員	・p. 14 の「人口動態」のグラフは令和 3 年度が最新になっているが、これが最新のデータか。これから新たなデータが公表されれば、パブコメの実施時期までに更新する予定なのか。
事務局	・素案作成時点での最新のデータでまとめているが、答申やパブコメの段階などで、最新のデータが公表されていれば修正する。

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ p. 9の(6)について、国は一人暮らしの高齢者等の孤立・孤独対策等について危機感を持って進めているので、本市も孤立・孤独対策としてのつながりについても記載があれば、アクセントが出るのではないか。 ・ p. 26の「人口の将来展望」に「令和22年に合計特殊出生率2.07をめざし」とあるが、現状はどうか対比できるデータがない。コロナ禍等で全国的に落ちている中で、現実的にその数値をめざすのか、検討が必要ではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ p. 32の「健康で生き生きと暮らせるまちづくり」に「人々が互いを認め合い、つながり、支え合う」とあるが、現状は程遠いので、目標にたどり着く手法など若干色をつける形にしなければお題目だけ書いたと受け取られる。基本計画でももう少し具体的になると思うが。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 私も気になった点で、枠は変えなくても、中身は動向の変化を反映するように検討願いたい。やはり最後の方向のところに反映させるべきではないか。 ・ p. 22の「まちづくりの課題」の「(4)地球環境への対応」について、今、環境省は2030年までに健全な生態系が保全されているところを30%にする30by30のプランを掲げ、自然共生サイトを指定して、自然保護だけでなく、人が管理しながら一定の自然を再生することも含めて動いている。世界的にはネイチャーポジティブ、自然再興の動きがあるので、課題や前段、p. 32の「自然と調和した活力ある快適なまちづくり」にも「ネイチャーポジティブをめざす」等の文言を入れて、そういう方向性をめざすべきではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ p. 23の「デジタル社会への対応」に「誰もが便利で」とあるが、高齢者などはデジタルについていけず逆に不便になった、アナログも残してほしいという声も聞くので、デジタル化で皆が便利になると強調せず、もう少し柔らかい表現にしたほうがよいと思う。逆にアナログ窓口を設置してはどうか。
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者への対応も配慮しながら、検討していただけるとよいのではないか。 ・ 今や携帯を持たなければクレジットの審査に通らない時代であり、DXについていけない人もDXに寄っていきけるような支援策が必要である。たとえばある団体に興味を持って入りたいと思っても、申し込みのQRコードに対応できない場合、拒否されていると感じて行かなくなる人が多い。DXについていけない方のために100%寄っていくのではなく、その方たちもDXに寄っていきけるような支援策が必要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル・ディバイド(デジタル格差)が起きており、デジタルを完全拒否する人もいるので、デジタルの良い点を享受できる施策が必要ではないか。同時に情報セキュリティが重要なので、行政で監視する政策を持ってほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ p. 32の2番に「保健、福祉、医療の連携を図り」とあるが、現実の施策は連携と言いながら縦割り関係なので、庁内組織をどうするのか、もう少し具体的に書いてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪狭山市は大阪府下で逸早く重層的支援体制整備事業に取り組んでいるので、保健、福祉、医療の連携に取り組もうという視点があるというメッセー

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ジを出したほうがよい。それをどのレベルで書くかは、次の段階で考えたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本計画のところになるか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ あるいは重層的整備事業の上位概念として、基本構想に書けるのではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確かに、縦割りでは制度の間に落ちてしまう問題があることが認識されているので、地域共生社会や包括的支援体制整備などのキーワードを出して、市は連携に対応しようとしているというメッセージを出したほうがよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状況の変化に応じて足された言葉があるが、ウェルビーイングはあまり本市と関係がないのではないか。逆に物価高騰の影響が書かれていないが、基本構想に入れて、どういう手を打ち始めているかを書いてよいのではないか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウェルビーイングは高齢者へのサポートなどに関わると思うので、つながりが分かるような表現が必要ではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年のアンケート調査で、ウェルビーイングに関わる項目がどのくらいあり、市民の世代別の反応がどうだったのかという結果が出ていれば、その対応について入れられると思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務局は、アンケート結果の読み取りをして、素案のたたき台で関係づけて、整理しているところはあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ ウェルビーイングの概念が広がっていることを踏まえ、市民意識調査では、現在と5年後の「市民の幸福度」を10段階で調べた。 ・ 調査結果では、市民が現在どの程度幸福と感じているかは10点満点中6.94点で、5年後は6.57点と若干下がっている。ウェルビーイングをどう高めていくかという方向性について、現状では書き込めていない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民、特に若い世代に価値観の変化が見えると、ウェルビーイングの意識のある人が集まるような政策ができるかもしれない。ウェルビーイングを打ち出すつもりなら、その意識を市民が持つような書き方を検討してほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタル社会への対応で「デジタル技術の活用によって、社会課題解決や魅力向上」という書き方は、デジタル技術でなければ解決できないと捉えられやすい。デジタル化についていけない高齢者はさらに取り残されると感じるので、言葉を選んでほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ その項目に Society5.0(デジタル化の進展で人間関係がまた構築されること)を入れてはどうか。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境・社会・経済という大きな枠組みを考えると、すべてが新しい技術だけで解決できるものではなく、人と人のつながりで解決できるものもある。ネイチャーポジティブで基盤としての環境をつくり、そこで人間は生きていくので、地域の活性化もコミュニティがあって初めて成立するし、その上でウェルビーイングを創っていく。自治会の問題もそこにつながるの、人と人をどうつなげていくかということをも市の施策の根幹に据える必要があると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人工知能やロボットにすべて任せる社会になると、人間同士のつながりが逆に深まるという考えから、ウェルビーイングと Society 5.0 はセットでなければならない。

会長	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動がもっと活発になると、高齢者へのサポートなどにも若い人の生きがいにつながる部分が出てくると思うので、つながり形成は大切だと感じる。
委員	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・市の将来像の「水・ひと・まちが輝き みんなの笑顔を未来へつなぐまち」が大本なので、デジタル化と幸福度の関係はつながるべきであり、p. 32にその部分も表れてほしい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・このまちは人が魅力なので、今活躍している人がさらに自発的に活躍できるまちになって、高齢者がサービスを受けるだけでなく、自分もまちで活躍するところがあると思えるようになってほしい。この計画を見て、自分も出番があると思ってもらえるとういと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・構想から計画へ具体化していく中で、私も何かできそうという誘い水になるような、活躍の場が見えるものにつながる方針を書きおくことが必要かと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・今熊地区の再整備や近大移転に伴って狭山ニュータウンが大きく変わると思うが、エリア設定は見直されていない。10年、20年前と同じことで、駅周辺についても拠点として位置づけられているが、例えば、狭山駅周辺は、地域のにぎわいや生活利便性を高めるとしているが、まったく高まっていない。 ・近大跡地の開発も大枠で医療、商業、住宅とゾーンが決まっていると思うが、人口が減り始めた中でももう住宅ゾーンは要らないという声も出ている一方で、企業誘致できるエリアはない。 ・10年、20年とエリアの設定が変わっておらず、まちが変わっていないことについて、行政はどう思っているのか聞きたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな問題だが、今熊地区周辺、ニュータウンなどはいろいろな情報が整理されているので、それを反映すると修正する部分があるのではないかと。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、現在、今熊地区周辺エリアの基本構想を作成しているが、上位計画である総合計画の方向性に基づいて検討が進められている。p. 28の都市拠点の設定において、今熊地区は福祉文化拠点としており、市民が利用しやすい集まりやすい環境づくりを進めるとしている。この大きな方向性のもとで、今熊地区の基本構想や複合施設についても検討を進めており、集まりやすい環境づくりとはどのようなものかという各論部分を個別の計画等で深めていくような建付けになっている。 ・拠点の設定について、長く変わっていないという指摘をいただいたが、時代によって若干内容の変更はしてきているものの、拠点の大きな方向性まで変える必要はなく、今回、エリアの方向性については変えるべきではないのではないかと考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・素案は同じでも、基本計画や実施計画には反映されて変わる部分が出てくる可能性があるのか。それならそのときに議論すればいい。そう理解してよいか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・本日説明した基本構想では、大きなまちづくりの方向性を記載しており、次回以降議論していただく基本計画では、細かい施策部分についての見直しを

委員	<p>行っている。今回いただいた意見で、基本構想で修正すべき点もあったと思うが、一部は基本計画で記載している部分もあるので、いただいた意見を整理したうえで、次回の審議会で事務局案としての方針を提示させていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今熊地区が福祉・文化拠点と位置付けられているなら、老朽化して耐震性のない商工会館も入れてほしい。市町村の商工会がなくなると大変である。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・個人的な意見では、縦割りの施設を幾つも建てるのではなく、多機能なものに集約化しなければ管理できなくなる。今熊地区はそれに取り組んでおり、さらに箱づくりだけでなく、そこへ行くと自発的に皆と一緒に何かできそうだとイメージされるようなものをつくる必要がある。多様な人がそこでつながっていくようなものを、横串を刺してつくり直すことを考えなければならない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ p. 28の鉄道について、狭山ニュータウンは泉ヶ丘から中百舌鳥へ行って地下鉄で大阪市内に出る人も多く、人の動きとしては泉ヶ丘に出る方も多い。泉ヶ丘とのアクセスに関する記載がないので、泉北線からも狭山ニュータウンはアクセス良好であることを加えてほしい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート調査でも、移動手段として泉ヶ丘の利用者がかなり多いという結果が出ていたと思うので、それをここへ反映するというところでどうか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討させていただく。 ・ 第3章の「まちづくりの課題」で、デジタル以外の項目が見直されていない。住民意識はコロナ禍でかなり変わり、5年前とは状況も大きく変わっているので、他の5項目も見直したほうがよいと思う。
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本日出た意見も一緒に反映しなければならないと思う。 ・ 実際に地域で活動して初めて、市民が思うような施策は皆で支え合わなければ成就できないことが分かるので、その重要性を p. 32の「施策の推進に向けて」の中に入れて、その必要性が市民にも理解されると、そこから人は動くと思う。したがって、取り組みの一つの柱として挙げる必要があると思う。
委員 会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先に現状の課題を挙げてから施策を出さなければならない。 ・ これまでも市民参画は行われたが、それ以上に一緒にやらなければならないという話である。一緒にやると楽しいこともあることを伝えたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題はいろいろと挙がっているが、その中で市民として取り組むことが必要なところは提示すべきではないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクセスの問題では循環バスの路線の問題がある。今熊地区に福祉関係の施設が集約化された場合、狭山は南北に分かれているので、北の人はバスを乗り換えなければ行けない。大きな開発では、市民が市内のどこに住んでいても公平に利用できるよう、中のアクセスも行き届くように考慮してほしい。
会長 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内の相互アクセスの問題で、地域内交流の活性化にもつながる話である。 ・ 市全体では人口は増えているが、ニュータウンは過疎化しており、近大の移転でさらに人口が減ると思う。高齢者の方の移動、アクセス関係はしっかりしてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を挙げると、マイナスに捉えていかに穴埋めするかという発想になりが

<p>会長</p>	<p>ちだが、これから狭山をどうしたいのかという理念、理想をしっかりと掲げて、それをめざしていくのも計画である。つまり課題解決型の発想と目的実現型の発想の両方が必要となる。対外的にメッセージを出せるのが計画なので、両方のバランスを取れたところを入れるのが重要だが、今の話ではそういう発想が出てきているのがおもしろいと思う。</p>
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目的を設定してそこへのアプローチの仕方を考える際、今の社会動向や市民の意識で設定すると、モノや人など隠れた資源を発見できる可能性もあり、下から出てくるアイデアも吸い上げられると思う。今またはこれから求められることに対してビジョンを描くことが総合計画には必要なので、5年後へ向けて、人を育て、そういう発想を植え付けていくことができればよい。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画のデザインの問題で、この計画が多くの市民に興味を持たれるには、難しい言葉を使わず、できるだけ日本語表記のやさしい計画を提供することが必要である。今は資料4の概要版でも難しいので、読み物としても誰もが興味を持つようなものにするのを、次の計画にも盛り込んでほしい。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりの基本理念から「狭山」と「水」という言葉を抜くと、どの市にも当てはまるので、本市の特色ある基本理念にしてほしい。 ・ 概要版はもっと柔らかいものにするという意見である。読み物として持ち歩ける大きさにすると、親しみを持ってもらえそうなものになるかと思う。 ・ p.22「安全・安心社会への対応」はもう少し変えてほしかったのが率直な意見である。民生委員としては、特殊詐欺の被害者も出ていて、市からもいろいろな助言をいただいているが、行政の窓口が縦割りであり、振り回されたこともある。もう少し、連携するようなかたちでの書き方をしてほしい。 ・ 自然災害や市民防災については、地域における自助・共助の取組はあるが、公助が書かれていない。市役所も施設整備や堺市消防との連携などいろいろと取り組んでいるので、それも書き入れるとよいと思う。 ・ 大阪狭山市は行政そのもののPRが下手という意見をよく聞く。「さやりん」100円バスも有効な取組みだが、利用者が少ないので、広報誌以外でもPRしてはどうか。そのような市の取組もこの中に1項目起こして入れるとよいと思う。
<p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題や課題はいろいろあるが、全部つながっているという話が出ている。それは行政、市民、事業者、皆で取り組んでいくというイメージであり、そのように皆でめざす狭山にしていこうというメッセージを見やすく伝えていくのが総合計画である。おもしろい発想が出ているので、それをうまく表現してつなげていくことが求められている段階だと思う。 ・ 問題がたくさんあるので、どうしようもない思いがちだが、皆さんの話を伺うと、それぞれ分担して考えられることがありそうなので、この計画の中で皆さんと一緒に考えられたらよいと改めて思った。 ・ 次回審議会で議論する基本計画では、より具体的に市民へのメッセージが伝わる内容について検討できればと思う。多くの意見を踏まえて、次回は修正と次の段階の提案が出されると思うので、そのときにまた意見をいただきました

事務局	<p>い。時間を要しそうなので、時間的な余裕をもって設定していただけるよう、ご協力をお願いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none">・以上で第1回の大阪狭山市総合計画と総合戦略審議会を終了する。・(事務連絡) <p>(以上)</p>
-----	---